

(議決事項 )

第1212回経営委員会議案

平成26年4月22日

### 協会国際衛星放送の廃止について

放送法第20条第1項第5号の業務として実施している、衛星を用いた外国人向けテレビジョン国際放送「NHKワールドTV」において、別紙のとおり、スペイン・ポルトガルを放送対象地域とする衛星に係る放送の業務を、本年6月20日（日本時間）をもって廃止することとしたい。ついては、定款第13条第1項第1号キに基づく議決を得たい。

本議案が議決されれば、総務大臣に対し協会国際衛星放送の業務の廃止を認可申請する。

【廃止の対象】

テレビジョン放送（外国人向け協会国際衛星放送）

放送地域：スペイン・ポルトガル

業務に用いられる人工衛星：ヒスパサット1E  
(Hispasat 1E)

外国の放送局を運用する者の名称：

プリザティービー社 (Prisa TV)

ゾンティービーカボ社 (Zon TV Cabo)

周波数：11731MHz

業務開始の期日：平成23年6月20日

受信可能世帯数：26万世帯（本年3月末時点）

【経緯】

NHKは、平成23年6月20日からプリザティービー社が運用するヒスパサット社のヒスパサット1E衛星を用いてスペインで外国人向け協会国際衛星放送（以下「NHKワールドTV」という。）を実施し、また、平成25年1月21日からゾンティービーカボ社が運用する同衛星を用いてポルトガルでNHKワールドTVの放送を実施している。受信可能世帯数は、本年3月末時点で約26万世帯である。

今般、NHKでは、プリザティービー社との本衛星の借用契約の期間が本年6月19日で満了することから、本契約の継続の要否について検討したところ、以下の理由により、本契約の更新を行わずに、本衛星を用いたNHKワールドTVの放送を廃止することとした。

※ ゾンティービーカボ社はプリザティービー社の提携事業者であり、ゾンティービーカボ社が運用する本衛星を用いたNHKワールドTVの放送は、プリザティービー社が運用する本衛星を用いたNHKワールドTVの放送の実施が前提となっている。

## 【廃止の理由】

### ①視聴可能世帯数の減少

本業務の開始時は約91万世帯だった視聴可能世帯数が、本年3月には約26万世帯まで減少し、今後も回復の見通しが立たないこと。

②本衛星の借用のための費用が高いこと。

### ③代替措置の確保

本業務が廃止されるスペインではプリザティビー社が使っている別の衛星（A s t r a 1 K R）を通じておよそ140万世帯が、また、ポルトガルではゾンティビーカボ社のケーブルテレビとIPTV、オプティマス社及びテレコムポルトガル社のIPTVを通じておよそ100万世帯、合計約240万世帯がNHKワールドTVの番組を視聴可能なこと。

なお、両国では、HOT BIRD 13D衛星を通じても、NHKワールドTVの放送を視聴可能である。

### ④視聴者への周知・影響

両社の視聴者に対して事前に別の視聴方法を十分に周知させることにより、視聴者への影響は少ないとの見通しであること。

以上のことから、NHKは、契約満了日の翌日をもって本業務を廃止しようとするものである。

なお、本業務の廃止で得られる予算は、アメリカや東南アジア等、より重要な地域の受信環境整備に効率的に充てていきたい。